

農業振興地域農用地区域用途区分変更申出書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

さつま町長 殿

申出者と土地所有者が異なる場合、土地所有者欄にも署名・押印のこと。申出者と同一の場合は不要。

申出者 住所 〇〇町〇〇〇
(転用者) 氏名 〇〇 〇〇 (印)

土地所有者 住所 〇〇町〇〇〇
(※申請者と異なる場合) 氏名 〇〇 〇〇

左の面積のうち、用途区分の変更が必要

1. 用途区分変更を申出する土地の表示

土地の所在			地目		面積 (㎡)	変更面積 (㎡)	用途 区 分
大字	字	地番	台帳	現況			
〇〇	〇〇	1234-5	田	田	375	375	田

該当するものを○で囲む。該当するものがない場合には、その他の欄に記入すること。(※例：ライスセンター等)

用途区分については、田・畑・樹園地・採草放牧地・混木林地・農業用施設用地のうち該当するものを記入すること。

2. 用途区分変更を申出する目的

1. 畜舎(鶏舎) 2. たい肥舎 3. 農機具格納庫 4. 肥料倉庫
5. その他 ()

3. 用途区分変更を申出する理由

酪農を営んでいるが、飼育牛の増頭により、現在の施設が手狭になり、家畜排泄物を適切に処理するために、新たに、たい肥舎の設置が必要になったため

用途区分変更を申出する理由について、なるべく具体的に、詳しく記入

4. 本農用地以外の土地についての選定の経過

たい肥舎を設置するにあたり、申出地以外の土地についても十分に検討した現在の牛舎の位置、近隣農地への影響等を考慮すると本申請地以外に適当な土地がなく、代替すべき土地がないため申請するもの。

5. 転用予定

転用申請が必要な場合はその許可が下りるまでの期間を考慮し、おおよその転用予定の時期を記入すること。

申出地以外の土地についての検討の経過、申出地以外に代替することができない理由について、具体的に詳しく記入すること。

平成〇〇年〇〇月頃

6. 転用等における地域関係者及び他法令との調整

申出地に隣接する土地の所有者、土地改良区等の関係者の同意を得ており、道路法等、その他該当する法令についても必要な手続きをとることで調整済みである。

地域関係者、及び土地改良区内の土地である場合は土地改良区の同意が得られていること、その他法令に該当する場合は調整済みである旨を記入すること。※農地転用申請が必要な場合、事前に農業委員会に相談しておくことが望ましい(200㎡以上の場合)。200㎡未満の場合には農業委員会への届出となる。

7. 添付書類

- ①. 位置図 ④. 土地利用計画図
②. 公図の写し ⑤. その他必要な書
③. 土地登記簿謄本(写し)